

エアークンプレッサー 取扱説明書

【ご使用前に必ずご一読ください】

品番: AC-1

この度は、KIKAIYA「エアークンプレッサー」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

- * この取扱説明書は、商品の正しい使用方法について記載しております。
- * 本書を最後まで必ずお読みいただき、商品を正しく取り付し、お使いください。
- * ご使用前には、別紙の「注意書」を必ずお読みください。
- * 本書が必要になったとき、すぐ利用できるように「注意書」と「取扱説明書」は大切に保管してください。



コバヤシデンソー株式会社

〒720-0843 広島県福山市赤坂町赤坂 1415-3

(MAIL) info@kikaiya.com

1. はじめに

この度は本機(コンプレッサー)をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

安全に正しくご使用いただくために、ご使用前にこの「取扱説明書」を必ずお読みください。

安全上の注意や製品仕様などは、予告なく変更される場合があります。その為、お客様が購入された製品と「注意書」「取扱説明書」に記載された内容が、一部異なる場合がありますのでご了承ください。

「取扱説明書」について

※基本的な操作方法や、必ずお守りいただく事を説明しています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつも見る事が出来る所に必ず保管してください。

※ご使用前には、別紙の「注意書」も必ずお読みください。

■調査及び修理をご依頼の前に

* 故障とお考えの前に、弊社までご相談ください。

* 改造により故障及び損傷した場合は修理対応できませんのでご注意ください。

* 調査を依頼される際の送料は、お客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

■開封時

開封したらすぐに中身を確認してください。

付属品の欠品、破損、初期不良等がございましたらすぐに販売店にご連絡ください。

※商品は到着しましたら7日以内に必ず開封して中身をご確認ください。

■注意事項

ご使用前には、別紙の「注意書」を必ずご覧ください。

「注意書」は使用者/他人への危害・財産への損害を未然に防ぐためにお守りいただく事を説明しています。

※安全業務を怠り規定外の使用による機器の損害やケガ等に関しては、当社では一切の責任を負いかねます。



2. 製品仕様

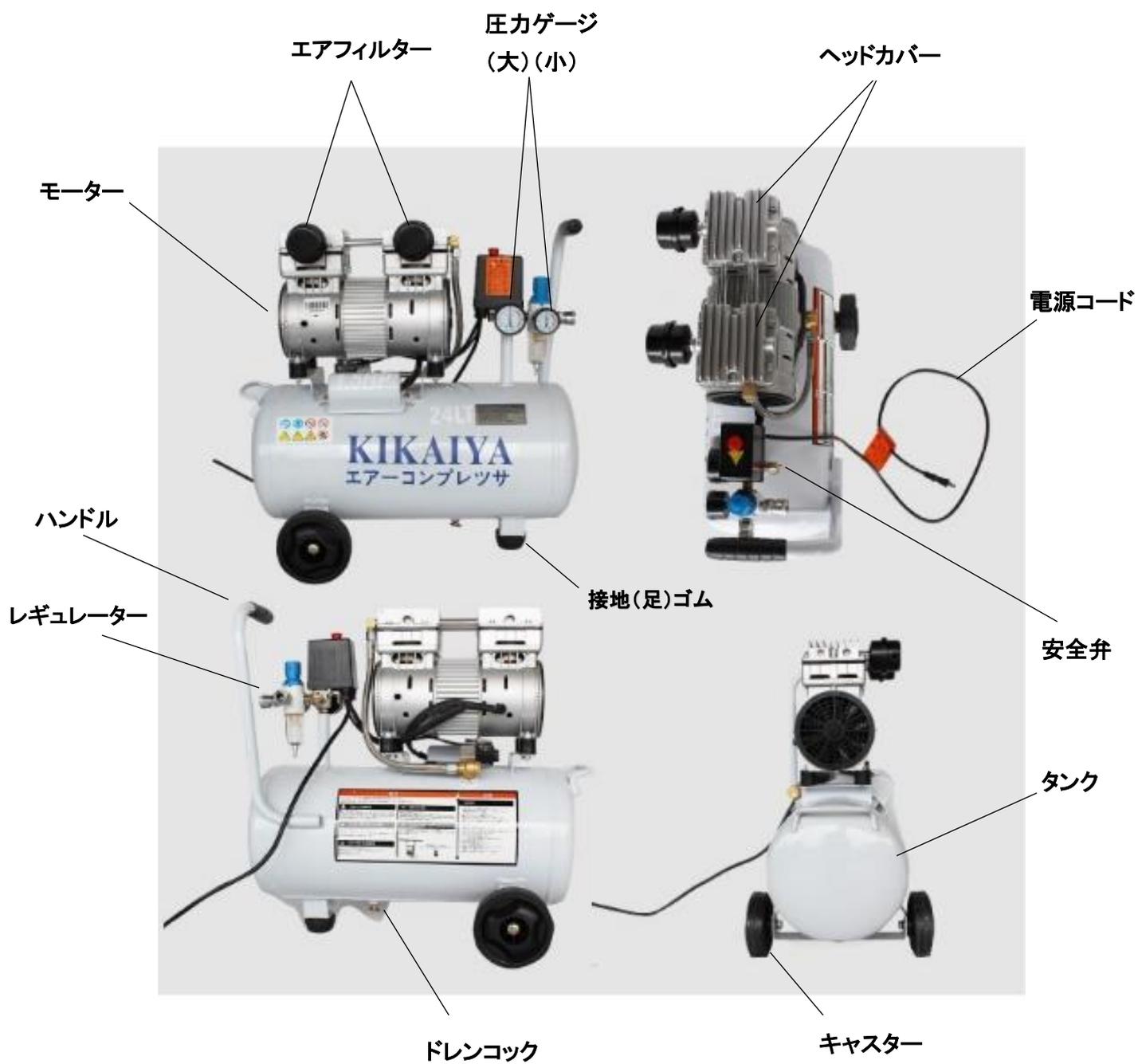
仕様・状態	
商 品 名	エアーコンプレッサー (オイルレス レシプロ式)
電 圧	AC100V
周 波 数	50/60Hz
電 流	9.3/11.1A
定格消費電力	931W/1100W
吐 出 量	約 55/66.5L/分
使用最高圧力	約 0.78Mpa (7.9 kgf /cm ²)
安全弁設定圧力	約 0.98Mpa (9.9Kgf/cm ²)
リリース起動圧力	約 0.59Mpa (6.0 kgf /cm ²)
吐出圧力設定範囲	約 0~0.8Mpa (8.1 kgf /cm ²)
エアー満タン時間	約 1 分45秒
接続(吐出)口	ワンタッチソケット
タンク容量	約 24L
馬 力	1.5HP
騒 音 値	約 65dB/m
コード長さ	約 1.4m
質 量	約 21.5kg
定格時間	20 分



セット内容

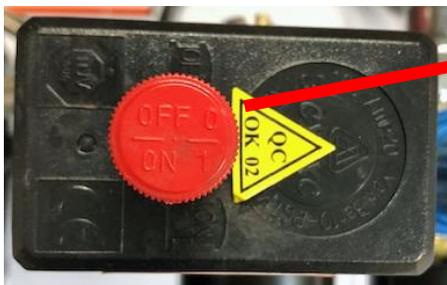
- ・エアーコンプレッサー本体 × 1
- ・キャスター(取付けネジ) × 2
- ・接地(足)ゴム(取付けネジ) × 1
- ・エアフィルター × 2
- ・エアーホースリール
(長さ10m) × 1

3. 各部名称



4. 各部の説明

電源スイッチ



■ 始動・停止するためのスイッチです。

- ・ON【始動】(上げた状態)
- ・OFF【停止】(押した状態)

圧カゲージ(大)



■ タンク内の圧力値を表示するゲージです。

(タンク内の圧力値の増減を目視で確認できます)

0.78Mpa でタンク内の圧縮空気が満タンとなり、
0.59Mpa まで下がると、再起動します。

※圧力が 0.78Mpa を超える場合は、圧力設定不良となりますので、お買い求めの販売店へお問合せください。

レギュレーター



■ タンク内の圧力値を変更できる調整装置です。

(調整圧力値を表示する圧カゲージ(小)付きです)

- ・調整範囲: 0~0.8Mpa
- ・時計回り (+): 増える
- ・反時計回り (-): 減る

※レギュレーターで調整した圧力は、圧カゲージ(小)で確認できます。

※調整ノブは必ず引っ張った状態で回転させて調整してください。

(引いた状態でないと圧力調整をする事はできません)

安全弁



■最高使用圧力以上になった場合、タンク内の圧力を逃すための弁です。

- ・タンク内圧力が 0.98Mpa で作動します。
- ・定期的にキーリングを引き圧縮空気の放出を行います。しばらく放出後、キーリングを戻し放出が停止する事を確認してください。

※安全弁が作動すると、圧縮空気が勢いよく放出されるので顔などを近づけないでください。

エアクリーナー



エアクリーナー

■空気吸入口に取付けるフィルターです。

- ・空気を吸入する時の音を軽減し、ゴミやホコリ等の侵入を防ぎます

※エアクリーナーを取付けないと、本体故障の原因となるので必ず取付けてください。

※エアクリーナーのお手入れ方法 ⇒14 ページ参照

運搬ハンドル



■移動する時に使用するハンドルです。

※移動する時は、電源コードなどを持たずに運搬ハンドルを持って移動してください。

※移動する時、接地(足)ゴムを引きずると破損するおそれがあるので、必ず接地(足)ゴム側を上げ、キャスターで移動してください。

ドレンコック



■タンク内の水分を排出する排出口です。
(圧縮空気に含まれる水分によって、タンク内に錆が発生する恐れがあるので、使用後はタンク内の水分/圧縮空気を全て排出してください)

- ・時計回り : 締める(閉じる)
- ・反時計回り: 緩める(開く)

※圧縮空気は勢いよく排出されるので、排出する時は気をつけてください。

※水分が含まれているので、受け皿を用意してください。

■電源コード



■AC100Vコンセントに接続する電源コードです。

※延長コードは使用しないでください。

※AC100V コンセント以外は使用不可です。

※必ず 15A のコンセントから直接電源をお取りください。

→動作不良の原因となります。

※電源について ⇒10 ページ参照 (電源の確認)

5. 各部の取付け

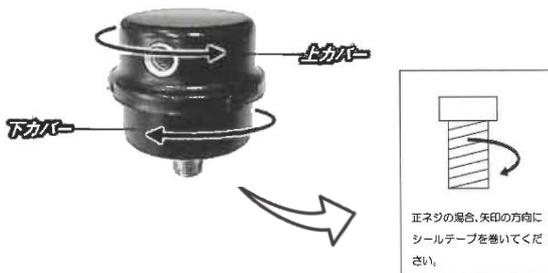
⚠ 警告

- 各部の取付けは、電源プラグを AC100V コンセントより抜いてから行ってください。
- ・突然作動する可能性があり、ケガをする恐れや事故の原因となります。

エアクリーナーの取付け



エアクリーナー



【取付け方法】

1. エアクリーナーを時計回り方向に回し、本体に取付けます。(ネジ部分にシールテープを巻いて、最後までしっかり締めて取付けます)
2. エアクリーナーの上カバーにある穴がなるべく下側を向くようにセットしてください。

※エアクリーナーは、必ず手で締めこんでください。
(工具を使用すると、エアクリーナーが破損します)
※エアクリーナー上カバーの空気取り込み口(穴)が下に向かない時は、上フタのみを外し切り込みを利用してフタの位置を調整してください。

接地(足)ゴムの取付け

【部品】



(接地ゴム)



(ボルト)



(ナット)



【取付け方法】

1. 接地(足)ゴムを取付けしやすいように、少し本体を浮かせます。
2. 接地(足)ゴムを、ボルト・ナットで仮止めし取付けます(図①)
3. 10mmソケットでボルトを押さえて、10mmレンチでナットを締めこみます。

※図①(フレーム部分)とは本体部分の事です

キャスター(左右)の取付け

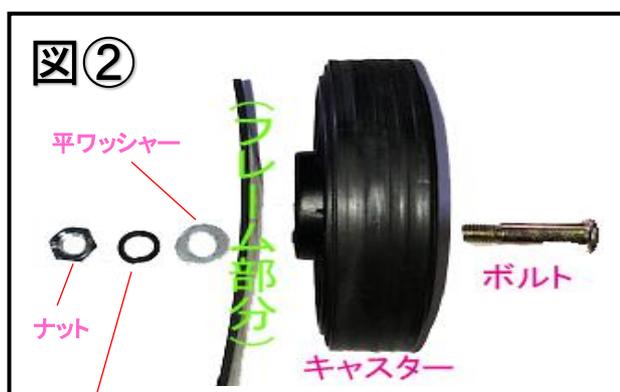
【部品】 (ナット/スプリングワッシャー/平ワッシャー)



【取付け方法】

1. キャスターを取付けしやすいように、少し本体を浮かせます。
2. キャスター(左右)を、ボルト・平ワッシャー・スプリングワッシャー・ナットで仮止めし取付けます (図②)
3. 17mmレンチ×2本でボルトナットを本締めします。

※図②(フレーム部分)とは本体部分の事です



※キャスターを取付ける時は本体を浮かせるので、倒れないように2名で行って下さい。

(1名が本体を浮かせ1名がキャスターを取付けて下さい)

※部品の欠品や損傷、破損などがある場合は取付けせずに、お買い求めの販売店へお問い合わせ下さい。

6. 使用前準備

電源の確認

■使用電源

- ・AC100Vコンセントを使用してください。
- ・AC100Vコンセントに接続する時は、必ず電源スイッチをOFFにしてください。
- ・15A以上のコンセントに直接電源コードをさしてご使用ください。
- ・直流電源や発電機、他の電圧では使用しないでください。

⚠ 重要

■延長コードについて

- ・延長コードの使用は極力控えて下さい。電圧降下により、作動不良の原因となります。
- ・やむを得ず延長コードを使用する時は、正しいサイズの延長コードを使用してください。

「指定延長コード」

- ・断面積:2.0sq—長さ:10m以下

使用前/定期点検

警告

- 点検は、電源プラグをAC100Vコンセントより抜いてから行ってください。
- ・突然作動する可能性があり、ケガをする恐れや事故の原因となります。

故障と事故を未然に防ぎ、安全に使用する為に、次の点検を設置前や使用前、定期的にも実施してください。

「点検項目」

- (1) 電源コードの曲がりや折れ、被覆の破れなどの点検
- (2) エアクリーナーの取付け状態、つまり、外傷などの点検
- (3) エアソケットの取付け状態
- (4) 圧縮空気の漏れ
- (5) 各部の増し締め

「安全弁の作動点検」

- (1) 最高使用圧力まで圧縮空気を溜め、安全弁のリングを引っ張ります。
- (2) 圧縮空気をしばらく放出後 リングを戻すと放出が停止する事を確認します。

使用場所の確認

次の場所には、設置しないでください。

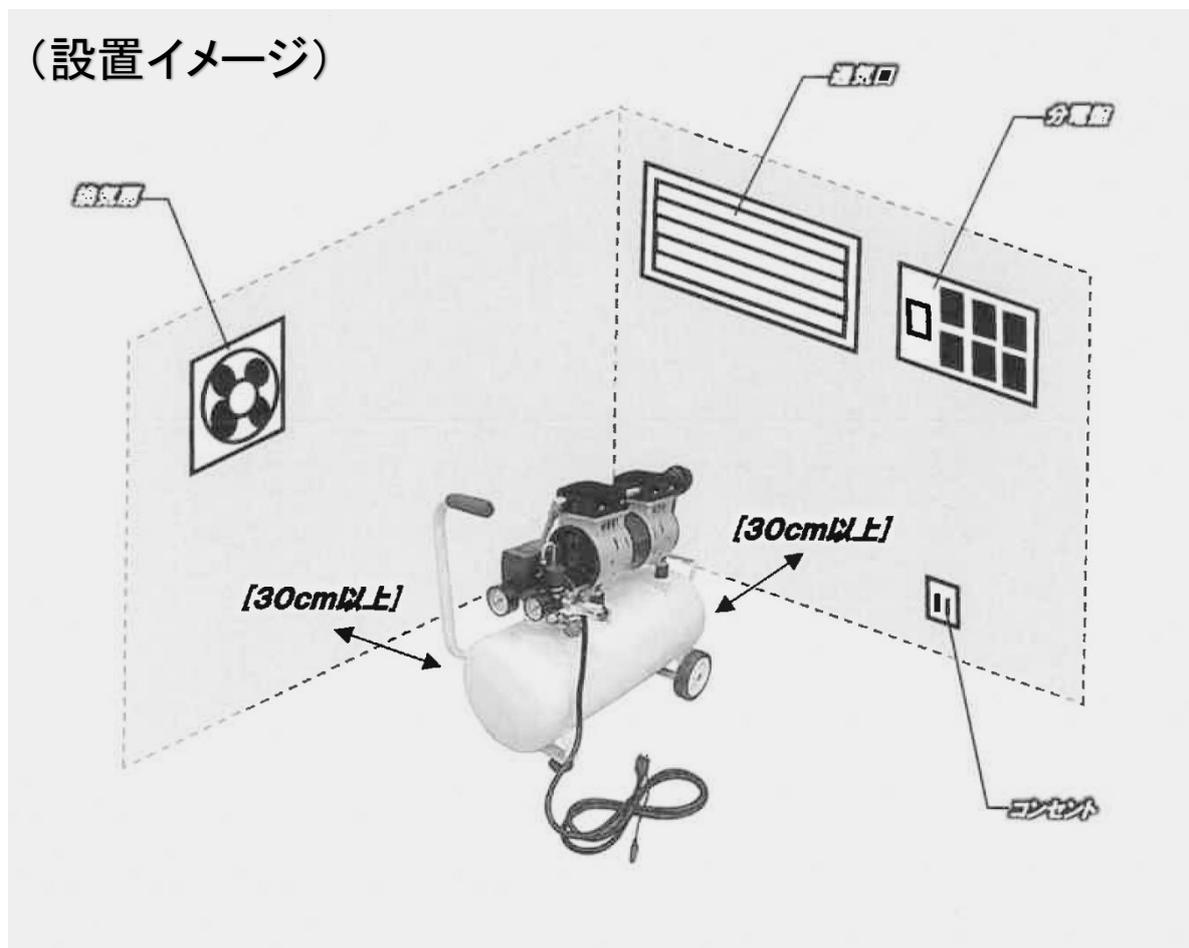
発火、火災、爆発、漏電、発サビなど、本体故障や重大な事故の原因となります。

- ・ガソリン、軽油、灯油、シンナーなどの、燃料、可燃性、揮発性の高い液体がある場所
- ・可燃性ガス、腐食性ガスが発生している場所
- ・水中や水の掛かる恐れのある場所や、高温・多湿となる恐れのある場所
- ・直射日光下、暖房器具や温度上昇する機器の側
- ・塵やホコリがあり掃除されてない場所

【設置場所】

- ・室内で、固く平らで傾斜のない床面
- ・周囲に障害物がなく、整理整頓された場所
- ・風通しがよく、換気のできる場所
- ・壁より30cm以上離せる場所
- ・分電盤に一番近いコンセントのある場所
- ・設置環境温度が0℃～40℃の範囲内の場所

(設置イメージ)



エアホースの接続

⚠ 警告

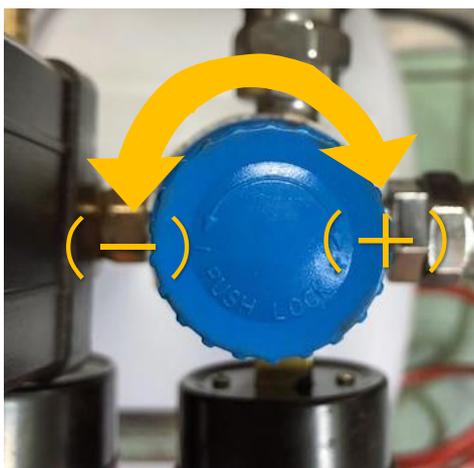
- エアホースの接続は、電源プラグを AC100V コンセントより抜いてから行ってください。
- ・突然作動する可能性があり、ケガをする恐れや事故の原因となります。



【接続方法】

1. エアソケットのリング部を押し下げます。
2. エアホースのエアプラグをエアソケットに差し込み、リング部を押し上げ、抜けない事を確認します。

エアレギュレーターの調整



- 使用するエアツールによって、タンク内の圧力値を調整してください。

【調整方法】（調整範囲：0～0.8Mpa）

- ・時計回り（+）：増える
- ・反時計回り（-）：減る

※調整ノブは必ず引っ張った状態で回転させて調整してください。
（引いた状態でないと圧力調整をする事はできません）

ドレンコック



- ドレンコックが締まっている事を確認してください。
- ・使用後は必ずドレンボルトを緩めて圧縮空気と水分を排出してください。
- ・排出後は、ドレンボルトの締め忘れに注意してください。

※圧縮空気は勢いよく排出されるので、排出する時は気をつけてください。

※水分が含まれているので、受け皿を用意してください。

7. 使用方法

始動 と 停止

【運転始動(スタート)方法】

- 1、電源スイッチを「OFF」にし、ドレンボルトを締める。
- 2、エアホース(エアプラグ側)をエアソケットに接続し、エアツールを取付けます。
- 3、電源プラグを、AC100V コンセントに接続します。
- 4、電源スイッチを「ON」にします。
- 5、最高使用圧力が 0.78Mpa に達すると、オート圧力スイッチが作動し自動的にモーターが停止します。
- 6、使用圧力が 0.59Mpa まで下がると再起動し最高使用圧力 0.78Mpa に達するとモーターが停止します。
- 7、使用後は電源スイッチOFF⇒電源プラグをAC100Vコンセントより抜く⇒ドレンボルトを緩めタンク内の圧縮空気と水分を排出します。

〈連続使用時間〉

- ・連続使用時間は20分です。
- ・20分以上使用する場合は、10分以上間隔をあげ、本体を冷ましてから使用してください。

【運転停止(ストップ)方法】

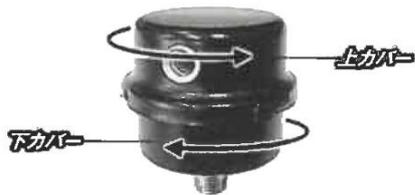
- 1、電源スイッチを「OFF」にします。
 - ※スイッチ以外でコンプレッサーを停止させないで下さい。
(電源スイッチを使用せずコンセントを引き抜いて停止させるなどすると、故障の原因となります)
 - (電源プラグを抜く時はコードを引っ張らず、コンセントの形成部分から抜いてください)
- 2、タンク下にあるドレンコックをゆっくりと開き(反時計回りに回す)、タンク内の圧力を解放すると同時に水抜きも行います。
 - ※空気を圧縮すると必ず水分が発生します。
 - ※エアタンク内の錆発生の防止とタンク内圧力を正常に保つため、使用後は必ず水抜きを行って下さい。

8. お手入れ

⚠ 警告

- お手入れするときは、電源プラグを AC100V コンセントより抜いてから行ってください。
- ・突然作動する可能性があり、ケガをする恐れや事故の原因となります。

エアクリーナー



フローガンのノズルをエレメントに当ててエアブローしないでください。エレメントが破損する恐れがあります。

■エアクリーナーは定期的に清掃してください。

- ・エアクリーナーは汚れが溜まりやすく目詰まりをおこす事があります。
- ・目詰まりをおこすと、圧力が上昇しない原因となります。

【清掃方法】

1. エアクリーナーを本体より外します。
2. 上カバーを反時計回り方向に回し分割します。
3. エレメントを取り出し、付着しているゴミやホコリ等を圧縮空気を使用してエアブローします。
4. エレメントを元に戻し、上下カバーを合わせ本体に取付けます。

※その際、上カバーの吸入口(穴)がなるべく下側に向くようにセットしてください。

※エアクリーナーの取付けについて ⇒7 ページ参照

清掃

⚠ 警告

- 圧縮空気エアブローする時には、必ず保護メガネ、防塵マスクを着用してください。
- ・ゴミやホコリが目や口に入ると、失明や健康障害の恐れがあります。

使用後や保管の時は、本体を綺麗に清掃してください。

- ・通気口などに付着したゴミやホコリなどは、圧縮空気を使用してエアブローしてください。
- ・本体の汚れは、水気を含んだ布を固く絞り拭き取ってください。
- ・シンナーやベンジン・アルコール等の化学薬品は、プラスチック部分を損傷させるので使用しないでください。

8. 保管

保管条件

次の保管条件に従い、正しく保管してください

- ・電源スイッチを OFF にしてください
- ・電源プラグを AC100V コンセントより抜いてください
- ・タンク内の圧縮空気をすべて排出してください
- ・エアホースを取外してください
- ・燃料やオイルなどの石油製品を、付着させないでください
- ・損傷や破損がある場合は、保管しないでください
- ・子供や幼児を近づけないでください

保管場所

次の保管場所には、保管しないでください

- ・高温・多湿・結露する場所
- ・塵やホコリがあり清掃されていない場所
- ・車両内・不安定な棚・大型機械の隣・換気できない狭い空間・振動が発生する場所やその付近
- ・施錠できない場所

9. トラブルシューティング

解決方法を試しても症状が改善されない場合、また、下記の症状が発生した時はお買い求めの販売店へお問い合わせ下さい。

症状	原因	解決方法
作動しない	電源プラグが抜けている	AC100V コンセントに接続してください
	電動スイッチが OFF になっている	電源スイッチを ON にして下さい
	分電盤のブレーカーが OFF になっている	分電盤のブレーカーを ON にしてください
	タンク内圧力が再起動圧力 (0.59MPa) 以上になっている	正常な為、そのままご使用下さい
	延長コードの使用による電圧降下	延長コードの使用をやめてください
	電動スイッチの故障	お買い求めの販売店へお問い合わせ下さい
	モーター不良	お買い求めの販売店へお問い合わせ下さい
モーターが回り続ける	ドレンコックが開いている	ドレンコックを閉じて下さい
	エアクリーナーが汚れている	エアクリーナーを清掃/交換して下さい
使用してないのに勝手に作動する ※電源スイッチ ON 時	エアーが漏れて再起動した	エアー漏れ箇所を特定しシールテープ (別途用意) を巻いて直すかお買い求めの販売店へお問い合わせ下さい
	圧縮空気の温度が下がり圧力低下した	正常な為、そのままご使用下さい
作動音が大きくなった	エアクリーナーが付いていない、または破損している	エアクリーナーを取付けるまたは 交換して下さい